

至徳

射水市立金山小学校 学校だより



令和3年11月10日

第14号

持久走記録会

2日(火)、持久走記録会がありました。学校では2週間前から練習に励んできました。練習を重ねるにつれ、やはり力が付くものですね。日に日に速くなっていくように感じました。当日は、この身に付けた力が十分発揮できればよいなと思っていました。

子供たちの走りを30人あまりの家族の方が応援してくださいました。やはり応援の力は凄いですね。本番に対する意気込みに応援が加わって力となり、全体的にペースが上がり、殆どの子が自己記録を更新したようです。練習では弱気になりがちの子も、辛そうな表情を見せながらも最後まで走りきりました。

走り終えた子に感想を聞くと、「思ったように走れんだ」「頑張ったよ」と返ってきました。思い通りに走れなかった子も、頑張ったことは間違いありません。

子供の頑張る姿は素敵です。私たち教師は、子供が頑張る姿を見たくて、頑張った後のこの素敵な表情を見たくて、日々励んでいるのだと感じました。

記録会で順位や記録は出るものの、みんなが「弱気にならず、諦めないで頑張ろう」という気持ちで走り終えたことに拍手を送ります。

応援に来てくださった皆様、どうもありがとうございました。



素敵な掲示

この掲示、どうですか？ 素敵でしょう。校長室前の掲示版です。

この掲示を担当しているのは、図書館司書の先生です。月毎にその月に応じた内容に変

わかります。廊下を通る子供たちも「あっ、変わった」と足を止めて眺めています。

図書館司書の先生には、子供たちの授業での学びや興味・関心、時節に応じた本との出会いがしやすいように工夫し、子供たちが読書好きになるように努めてもらっています。

本を読むことが好きになると、学習での問題の読み取りへの抵抗感が軽減したり読み取る力の育成につながったりします。また想像力も豊かになります。

この掲示板もそれに繋がることの一環です。これを見て、「素敵なお詩だな。まどみちおさんの詩を読んでみようかな」とか、「これってどういうことかな」と光景を思い描いたり、そこから想像を膨らましたりしていくと、世界がどんどん広がっていきます。素敵ですね。



さて、来月はどのような掲示なのかな。私も掲示を楽しみにしている一人です。

対話がしやすいように

今年度、本校は「子供同士の対話」を重視しながら、主体的に学び合い、考えを深める子供の育成を目指して授業に取り組んでいます。

対話とは相互作用です。自分の考えが相手に伝わり、相手がそれを受け入れてくれると嬉しくなります。対話は「もっと伝えたい性質」を備えていると言えます。対話があることで、学習に主体的に向かう姿が生まれるのです。

また、他者とのやり取りを通して多様な考えが入ってきます。更に、相手に伝えるために自分の考えを確かめたり、構造化したりすることにもつながり、物事に対する深い理解が生まれます。対話にはそういうよさがあるのです。

先日の校内研修会で、この対話がしやすいように、机の配置を「コの字型にする」ということが話題になりました。これまでは「新型コロナウイルス感染症」対策として、机は全て前向きでしたが、感染症が少し落ち着いてきたこともあり、間隔を空けて「コの字型」にしてもよいことにしました。

各教室を回ると、早速2年生が「コの字型配置」にしていました。他の学年も、目的に応じた学習形態の一つとして取り入れていきます。

机の「コの字型配置」により、対話がしやすくなり、主体的に学び合い、考えを深める子供の姿が育つことを期待しています。

